

ロータリー財団について

平成23年11月2日

釧路北ロータリークラブ

足立 功一

地球の人口が70億人を
突破しました

人口爆発

- 地球全体の環境破壊 → 自然環境の破壊
- 資源の枯渇

食糧難(アフリカ諸国)

貧困を原因とする地球紛争が勃発

過密な人口と飢えと貧困による騒乱の時代

これらの問題を解決するためには どうすれば良いか？

- **環境問題**：気象変動（地球温暖化対策、CO2削減、エコロジー）
- **人口爆発**：食料難、産児制限



教育

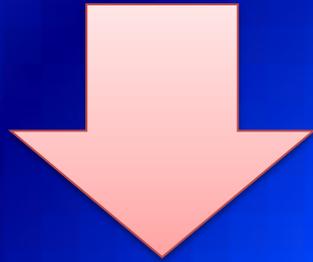
- **紛争**：民族、政治、経済



貧困と飢餓

ロータリーの取り組み

活動の強調事項



貧困と飢餓救済

水(健康)

識字率向上(教育)



6つの重点分野

1. 平和と紛争予防/紛争解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展

グローバル補助金： 6つの重点分野

<親善と平和>

1. 平和と紛争防止/解決

<教育>

2. 基本的教育と識字率向上

<貧困の緩和>

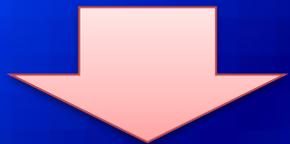
3. 経済と地域社会の発展

<健康>

4. 疾病予防と治療
5. 水と衛生設備
6. 母子の健康

※重点分野は9年ごとに見直されることになっています

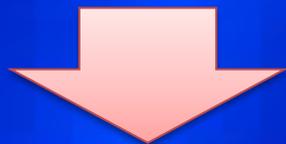
★ますますロータリーに対する要求が増加している



★より一層の資金提供をしていかなければならない



★しかし、私たちの善意にも限界があり、自分の足元を見つめなおさなければならない



★支援活動をどうするか？ — **簡素化・再編成**

前年度RI理事会での協議事項

1, RI長期計画の三大目標

a)クラブのサポートと強化

会員の勧誘と維持

b)人道的奉仕の重点化と増加

新世代奉仕プログラムなど

ロータリーの6つの重点分野

c)公共イメージと認知度の向上

イメージとブランド認知を調和させる

職業奉仕を強調するなど

2, 長期計画を地区やクラブレベルで作る

16項目の中からどの項目を一年目に実行するか目標、実施者、進め方、評価方法などを決める

3, RIのプログラムとして世界社会奉仕(WCS)とロータリー・ボランティア・プログラムが2011年7月1日より無くなる。財団の6つの重点分野やロータリー・トレーニング・チームに変わる

前RI理事 黒田正宏PDG資料

ロータリーの長期計画 発表

長期計画委員会の経過

- 2002～03年 **理事会はRI長期計画を提案し、ロータリアンを動員して、全地域のロータリー活動の現状を調査。**
- 2004年6月 **規定審議会はRI長期計画委員会の設置を承認。6年任期の6名の委員で構成。3年毎の見直し。**
- 2007年1月 **事務総長がRI長期計画部局を創設。**
- 2007年4月 **規定審議会は長期計画の進行状況と現状を確認。**
- 2007年6月 **理事会はRI長期計画の使命、ビジョン、モットー、中核となる価値観、そして7つの優先項目を承認。**
- 2009年7～8月 **3年毎の国際ロータリー活動及び意識調査。**
- 2009年11月 **RI理事会は調査結果に基づく長期計画委員会の新長期計画を承認。**
- 2010年7月 **2010～2013年新長期計画発効。**

(南園元RI理事資料)

長期計画の7項目と目標

(2007－2010年度)

- 1、ポリオの撲滅
- 2、ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める。
- 3、他者に奉仕するロータリーの力の増大を図る。
- 4、量的にも質的にも会員組織を世界的に拡大する。
- 5、ロータリー独自の職業奉仕への取り組みを強調する。
- 6、ロータリー組織内の指導的才能を最大限に活用し、育成する。
- 7、組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する。

(南園元RI理事)

2010年・国際ロータリー規定審議会

<採択決議案10-01>

研修・リーダーシップ委員会の設置をクラブに奨励
するようRI理事会に要請する件

国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、クラブ・リーダーシップ・プランが推奨する常任委員会に加えて、研修・リーダーシップ委員会を設置するようクラブに奨励することを検討するものとする。新会員も古くからの会員も含め、RIならびにロータリー財団の目標、規則、リソースに関する知識が欠けているローリアンが多くみられる。これはクラブが徹底した定期研修を継続的に提供していないことに起因している。さらにクラブ会長などと言ったクラブの責任を引き受ける前に、指導力を改善する機会が与えられていないローリアンが多すぎる。

クラブの現状を省みる

クラブは...どうでしょうか？

- 奉仕活動を行っていますか
- 会員は積極的なロータリアンですか
- 地域社会の多様性を反映していますか
- 人々の心に残るプロジェクトやプログラム、会合を提供していますか
- 規則が厳しすぎたり、縛られすぎていませんか
- 参加や出席を重視していますか
- 皆さん楽しんでいますか
- 新会員が親しみやすい雰囲気を作っていますか

長期計画(2010～2013年)

ビジョン

私たちは、世界中の地域社会における
人々の生活の改善に貢献するため、活発で
行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織である。

標語：超我の奉仕

クラブのサポートと強化

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・五大奉仕部門の全部門における調和の取れた活動を行う
- ・会員の多様性を増進する
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・ロータリーを伸展させる
- ・クラブと地区における長期計画の立案を奨励する

人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオを撲滅する
- ・以下の分野における奉仕の持続性を高める
 - 青少年と青年のプログラム
 - ロータリー財団の6つの重点分野
- ・協力組織とのパートナーシップおよび他組織との協力関係を拡大する
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する

公共イメージと認知度の向上

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・行動を主体とした奉仕を推進する
- ・中核となる価値観を推進する
- ・職業奉仕を強調する
- ・クラブにおけるネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の主な活動について周知を図るようクラブに奨励する

中核となる価値観 奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ

使命

私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。

優先項目と目標

クラブのサポートと強化	人道的奉仕の重点化と増加	公共イメージと認知度の向上
<ul style="list-style-type: none">□ クラブの刷新性と柔軟性を育てる□ 五大奉仕部門の全部門における調和の取れた活動を行なう□ 多様性を増進する□ 会員の勧誘と維持を改善する□ リーダーを育成する□ ロータリーを伸展させる□ クラブと地区における長期計画の立案を奨励する	<ul style="list-style-type: none">□ ポリオを撲滅する□ 以下の分野における奉仕の持続性をたかめる<ul style="list-style-type: none">・ 青少年と青年のプログラム・ ロータリー財団の6つの重点分野□ 協力組織とのパートナーシップおよび他組織との協力関係を拡大する□ 地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する	<ul style="list-style-type: none">□ イメージとブランド認知を調和させる□ 行動を主体とした奉仕を推進する□ 中核となる価値観を推進する□ 職業奉仕を強調する□ クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な活動について周知を図るようクラブに奨励する

優先項目と目標

クラブのサポートと強化

- クラブの刷新性と柔軟性を育てる。
- 五大奉仕部門の全部門における調和の取れた活動を行なう。
- 多様性を増進する。
- 会員の勧誘と維持を改善する。
- リーダーを育成する。
- ロータリーを伸展させる。
- クラブと地区における長期計画の立案を奨励する。

人道的奉仕の重点化と増加

- ポリオを撲滅する。
- 以下の分野における奉仕の持続性をたかめる。
 - ・ 青少年と青年のプログラム。
 - ・ ロータリー財団の6つの重点分野。
- 協力組織とのパートナーシップおよび他組織との協力関係を拡大する。
- 地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する。

RIの端的な要求は

- 1、会員増強**：大勢で行いパワーが無いとクラブ活動そのものの効果が出てこない
- 2、奉仕活動**：5つの奉仕活動をフルに利用しよう
- 3、財団支援**；世界で良いことをしよう
ロータリアンが力を合わせて世界平和のために働こう
- 4、リーダーの育成と広報**

ロータリー活動を熟知
して、効果的なクラブ
として変身するには？
(実践的で活発なクラブ)

効果的なクラブ

会員基盤を
維持し、
増加させる

成果あふれ
る奉仕プロ
ジェクトを実
施する

ロータリー
財団を支援
する

クラブレベ
ルを超えた
指導者を育
成する

クラブ・リーダーシップ・プラン

5大奉仕部門

DLPとCLP

地区リー
ダーシップ
プランの強
制導入
2002年



クラブ・リー
ダーシップ
プランの導
入推奨
2005年

CLP導入は進んでいますか？

• 2500地区の現状

A. 導入済み : 34クラブ

B. 導入準備中・予定あり : 7クラブ

C. 導入予定なし : 25クラブ

* 委員会構成を見直し変更したことを
もって「導入」とする。

CLPにおける9段階の実効策

1. 効果的なクラブの要素に取り組む**長期計画**の立案。
2. 「効果的なRCとなるための活動計画の指標」を使用し、クラブの長期計画と調和した**年次目標**を設定する。
3. 会員を計画過程に参加させ、ロータリーの活動に関する情報を伝えるための**クラブ協議会**を実施する。
4. クラブ役員、会員、地区指導者との明確な**コミュニケーション(意思の疎通)**を保つ。

5. 一貫した引継ぎ計画を含め、**クラブの指導者の継続性を確保する。**
6. クラブ委員会構成とクラブ指導者の役割と責務を反映させるべく、**クラブ細則を改正する。**
7. クラブ会員間の親睦をさらに深めるような機会を提供する。
8. 会員全員がクラブのプロジェクトや業務に活発に関与するようにする。
9. 包括的な研修を立案し、実施する。

An aerial photograph of a city street, showing a road with white lane markings and a yellow curb. Buildings and trees are visible in the background. The text is overlaid in red on the image.

財団の支援活動について

(東日本大震災)

ロータリー財団3種の特別基金

①ハイチの大地震に対するもの：200万ドル

②チリの大地震に関するもの：100万ドル

③東日本大震災：300万ドル

- これらの資金を活用するには、財団の資金であるのでマッチング・グラントを組んで請求しなければならない
- 東日本大震災に関しては、現在まで(7月1日)27件の申請があり、16件が承認されました。金額としては33万ドルで総額の約1割です。
- しかし、マッチング・グラントをいちいち請求しては資金が手に入るまで時間がかかってしまいます。



© Rotary International



© Rotary International

公益財団法人ロータリー日本財団 ～ロータリー財団の協力財団～



© Rotary International

ロータリー財団の協力財団

- 世界7カ国

カナダ、ドイツ、インド、英国、オーストラリア、ブラジル、日本

- 税制上の優遇措置

ロータリー日本財団の経緯

- 2002年-2008年 NPOロータリー日本財団
- 2008年12月1日 新公益法人関連3法施行
- 2009年6月11日 一般財団法人ロータリー日本財団設立
- 2010年9月22日 内閣府へ公益財団法人へ移行申請
- 2010年12月24日 公益財団法人ロータリー日本財団設立
- 2011年4月1日 寄付金受入れ開始

公益財団法人人口タリー日本財団役員

会長	千 玄室
理事長	岩井 敏
副理事長	渡辺 好政
	森嶋 庸吉
理事	田中 作次
	小沢 一彦
	上野 孝

評議員	伊藤 義郎
	服部 禮次郎
	板橋 敏雄
	重田 政信
	中島 治一郎
監事	片山 主水
	井上 暎夫

(敬称略)

ロータリー日本財団

公益目的事業

- 1) 個人が海外留学するためもしくは海外から日本へ留学するための奨学金及びロータリー平和フェローシップの付与
- 2) 国際ロータリーのロータリー財団の活動を支援するための、寄附金の提供

現在の寄付の送金先

年次プログラム基金

ポリオ・プラス

災害復興基金

MG/GG 提唱者負担分
その他使途指定寄付

A 公益財団法人

ロータリー日本財団

税制上の優遇措置の対象

恒久基金寄付

プロジェクトの返金

慈善年金

ネクタイ／スカーフ

B ロータリー財団

現在の寄付の送金先

年次プログラム基金

ポリオ・プラス

災害復興基金

MG/GC 提唱者負担分

その他使途指定寄付

オンライン寄付、ドルの寄付は

税制上の優遇措置の対象

恒久基金寄付

プロジェクトの返金

慈善年金

ネクタイ／スカーフ

になりません。

A 公益財団法人

ロータリー日本財団

税制上の優遇措置の対象

B ロータリー財団

確定申告用の寄付領収書

◇個人による寄付

4月(1月)から6月分 → 同年7月末発送

7月から12月分 → 翌年1月末発送

◇法人による寄付

随時

※所属クラブへ送付

ロータリー日本財団ウェブサイト

URL: <http://piif-rfj.org/>

日本地震災害復興基金



日本地震災害復興基金



\$ 1,425,886

(DDFと現金)

4月19日現在

小沢財団管理委員

- この資金の使い道に関しては、日本に任せてほしいと小沢財団管理委員がRIに直訴。
- 日本の会員から日本財団に寄付されたお金は、一旦国際ロータリー財団に入るが、そこから全額小沢氏の管理する義援金口座に振り込まれる。
- 小沢トラスティーが任命した6人委員会で使い道を決定

<特徴>

- 今年の12月31日までに寄付されたお金に関しては、財団のポイントをつける。つまり高額であれば1万ドルを寄付すればレベル1、2万5千ドルでレベル2、5万ドルでレベル3、10万ドルでレベル4の大口寄付者となります。
- その使い道に関しては、6人の委員を選任し、その委員の協議で有意義な支援を行う。この6人の委員会は、来年の12月31日までにその使い道を決めて解散する。
- ロータリー日本財団に寄付された資金は、個人、法人を問わず免税扱いとなります。



2500地区の支援

2500地区の取り組み

- 5月27日：岩手県大槌町の3校、釜石市3校にピアノを贈るマッチング・グラントを申請。
- パートナー：タイのバンコク南RCを国際パートナー、盛岡北RCをホストパートナーとして北海道の2500地区と四国の2670地区がDDFで支援
- ロータリー日本災害復興基金より補助金をもらう

実施国協同提唱者

- 代表となるクラブ／地区
- クラブ 盛岡北RCクラブ ID 番号(分かる場合) 00000
- 地区番号 2520 国 日本
- 代表連絡担当者
- **氏名 田口 絢子(Ayako Taguchi) 会員 ID 番号0000000**
クラブ 盛岡北RC(RC of Morioka North)
- ロータリーでの役職 会長(Prsident)
- 住所(番地) 000 1-1-26 市町村 盛岡市(Morioka City)、
都道府県 岩手県(Iwate) 郵便番号 020-0003 国 日本
(Japan) Eメール 000@000.ne.jp
- 自宅電話 019-000-0000 勤務先電話 019-000-0000
ファックス 019-000-0000

「ピアノ寄贈先学校リスト School list」

- 1) 鶺住居(うのすまい)小学校(Unosumai Elementary School) 校長 坂下俊彦
釜石市新町1-55 双葉小学校内
電話 019-23-5122
- 2) 釜石東中学校(Kamaishi East Junior High School) 校長 平野 憲
釜石市中妻町1-6-8 釜石中学校内
電話 019-23-5531
- 3) 唐丹(とうに)小学校(Touni Elementary School) 校長 青笹光一
釜石市大字平田(へいた)4-2 平田小学校内
電話 019-26-5310
- 4) 大槌小学校(Ootsuchi Elementary School) 校長 小野寺 恵美子
下閉伊郡山田町船越2-42 陸中海岸青少年の家内
電話 080-2300-3571
- 5) 大槌北小学校(Ootsuchi North Elementary School) 校長 佐野 容子
上閉伊郡大槌町吉里吉里2-4-1 吉里吉里小学校内
電話 080-2300-3575
- 6) 大槌中学校(Ootsuchi Junior High School) 校長 小野永喜
上閉伊郡大槌町吉里吉里1-215
電話 080-2300-3576
大槌小・大槌北小・安渡小・赤浜小・大槌中の仮校舎を大槌北小のグラウンドに
建設予定



hana AIRPORT SHOP & CAFE



トヨタ TOYOTA NISSAN 日産自動車



いわぶち

いわぶち

エフエス

Blue sign

Yellow sign







OK OK

OMNI





88 福光

173-48508



山田町立船越小学校











ANTLERS
KASHIMA ANTLERS F.C

ANTLERS
KASHIMA ANTLERS F.C

NGO

小学校大運動会ス

の光を 吉野里
走り・表現し・



KASHIMA ANTLERS F.C.

KASHIMA ANTLERS F.C.

KASHIMA ANTLERS F.C.

BINGO



奈川県平塚市立花水小四



広がるきぼう









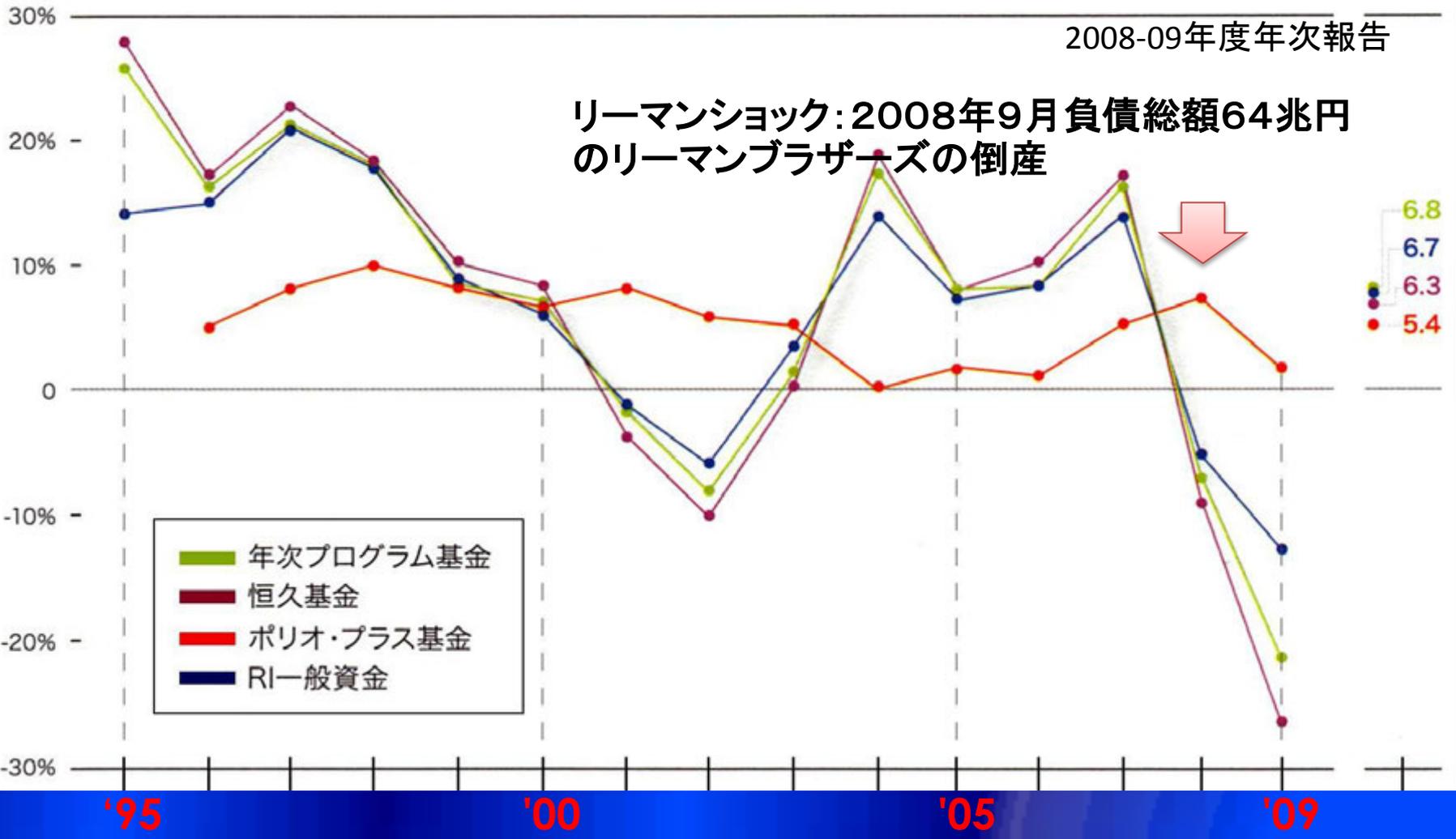




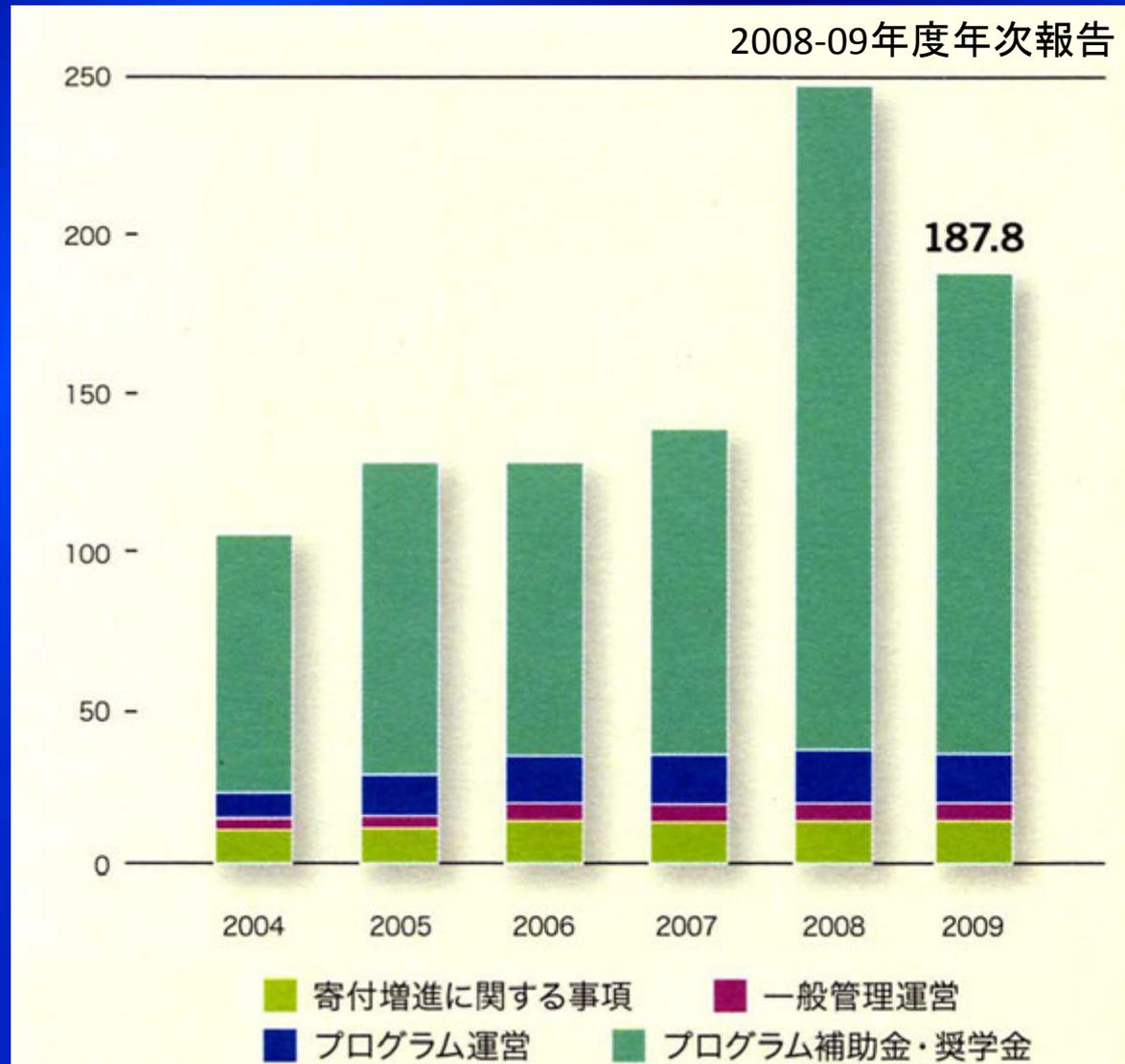


リーマンショック後の
ロータリーの資金？
(投資の結果？)

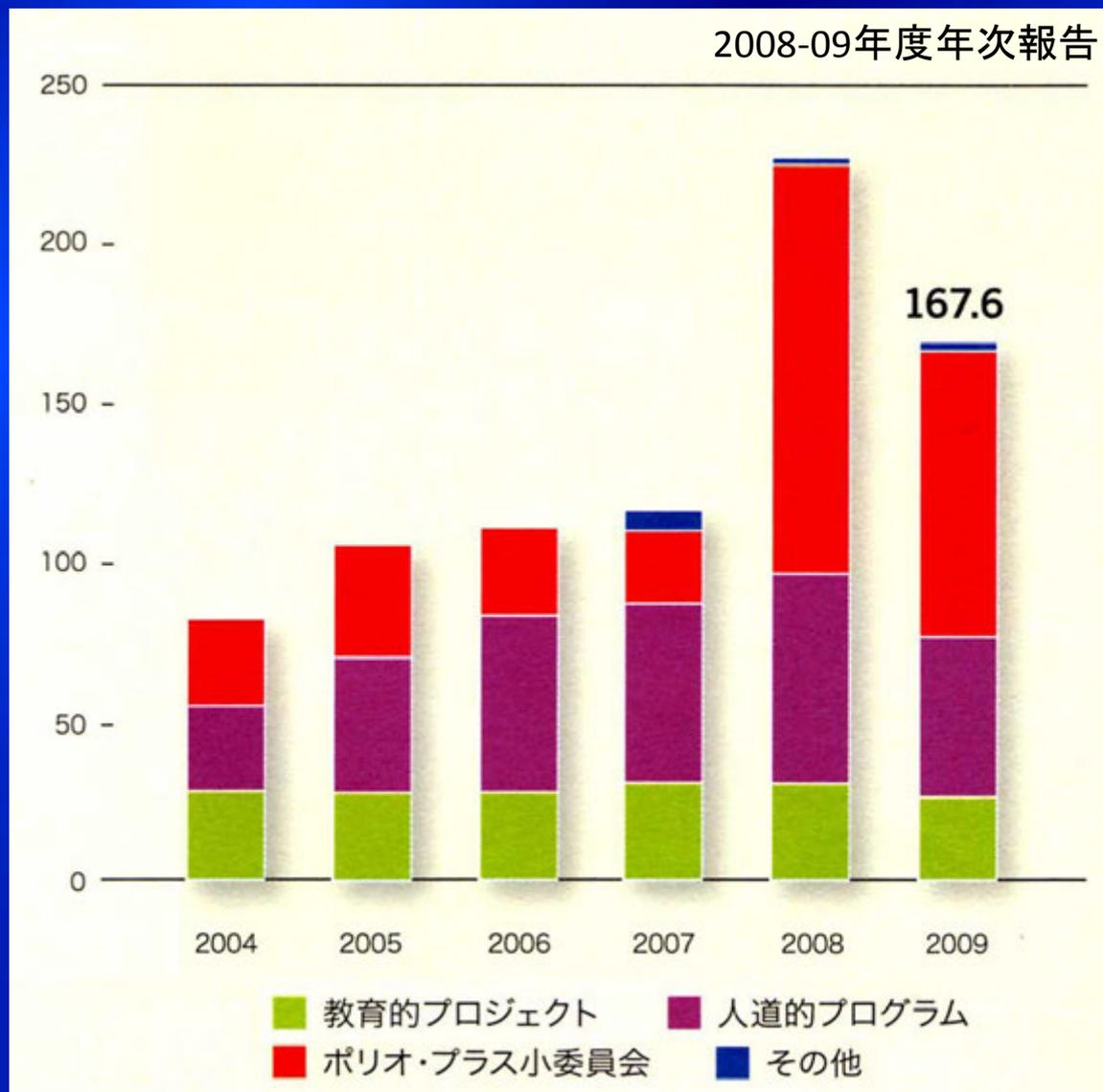
これまでの投資収益（年次投資収益率）



ロータリー財団補助金・奨学金 および経費の合計 米ドル(100万単位)



ロータリー財団プログラム補助金・奨学金 およびプログラム運営費の傾向 米ドル(100万単位)

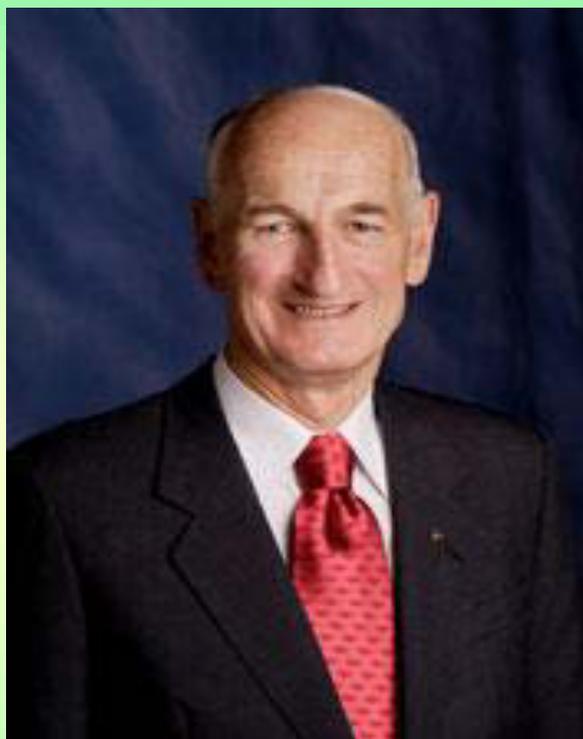


2011-12年度

ロータリー財団の目標



目標は3つ



ウィリアムビル・ボイド

パ克蘭ガ・ロータリークラブ(ニュージーランド)

2011-12年度ロータリー財団管理委員長

2006-07年度RI会長 (Lead the WAY—率先しよう)

1. **ポリオ撲滅: 最優先事項**
2. 年次プログラム基金、恒久基金、ロータリー平和センターへの寄付を通じて、ロータリー財団が自分たちの財団であるというロータリアンの自覚を養う
3. 未来の夢計画において引き続き成果を出し、**奉仕プロジェクトを6つの重点分野に合わせたものとする**



第一に最優先項目であるポリオ撲滅
を成し遂げること

2億ドルのチャレンジ

現在 1億7,680万ドルを達成



財団が自分たちのものであることを自覚し、その達成を誇りとすること。

年次プログラム基金、恒久基金、ロータリー平和センターは、いずれもロータリアンが財団の未来に投資する重要な方法である。

年次プログラム寄金9550万ドルに対し8,784万ドル。

恒久基金10億ドルに対して7億240万ドル達成。

平和センター9500万ドルに対して5687万ドルを達成。

恒久基金と大口寄付の 重要性

財団プログラムの財源

年次プログラム基金

多くの人々が少額でも頻繁に
毎年寄付をする



恒久基金

ロータリアンと関係を築き
懇請を通じて実現する
大型寄付



使途指定寄付

2009-10年度大口寄付(国別)

寄付者の国	件数	金額*
米国	214	\$9,730,661
インド	137	\$5,329,264
日本	88	\$ 1,597,721
台湾	70	\$1,460,000
カナダ	11	\$1,269,632
韓国	45	\$1,007,154
総計 (すべての国)	624	\$ 23,492,673

**単位:米ドル

ゲイツ財団からの寄付を除く

2009-10年度大口寄付(基金別)

指定先	件数	金額*
恒久基金	178	\$8
年次プログラム基金／シェア	226	\$5
マッチング・グラント	42	\$1
ポリオ・プラス	91	\$5
複数の使途指定** とその他	87	\$5
合計	624	\$24

*単位:100万米ドル

**大口寄付者が多目的に使用するよう指定したケースを含む

日本の現況

- 新規大口寄付者2011年累計 1,127名 (6月20現在)
 - 2009-10年度 88名増
 - 2010-11年度107名増

- 遺贈友の会 会員数累計209名
 - 2009-10年度208名
 - 2010-11年度209名

- ベネファクター累計22,668名 (5月31日現在)
 - 2009-10年度698名増
 - 2010-11年度691名増



恒久基金の目標額

2025年までに10億米ドル

2011年4月30日までの寄付額

7億240万米ドル(資産+予測収入)

純資産： 2億4,100万米ドル

予想収益：4億6,140万米ドル

終了